

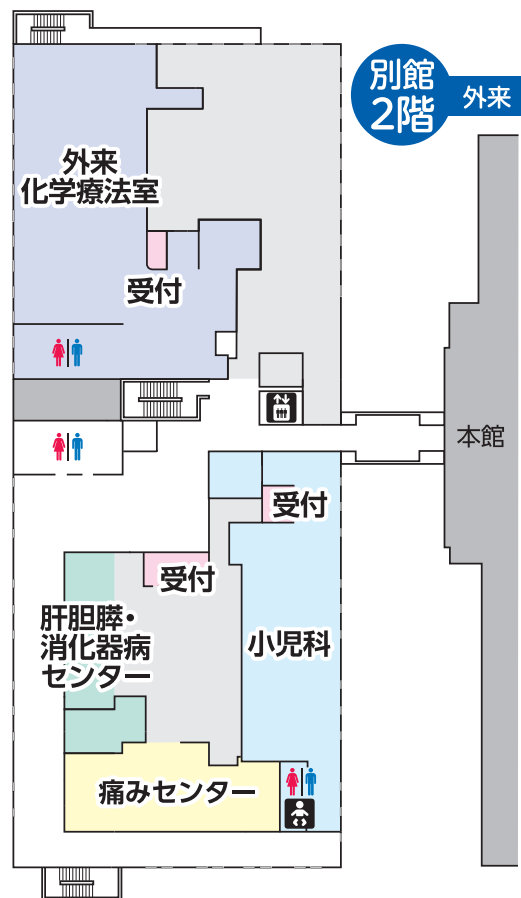
MARINE PAPER Vol.116

お知らせ

別館開設に伴い、下記スケジュールで別館に順次移転します。受診される際はご注意ください。

- 1月4日(土) _____
人間ドック・健診センター 本館3階 ⇒ **別館3階**
- 1月21日(火) _____
小児科 本館1階 } ⇒ **別館2階**
痛みセンター 本館4階 }
- 1月29日(水) _____
外来化学療法室 本館2階 ⇒ **別館2階**
- 1月下旬 _____
(詳しい日程は院内の掲示をご確認ください)
ICU 本館4階 ⇒ **別館4階**

※別館3階のフロア図は3ページをご覧ください。



謹賀新年

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院

新年明けましておめでとうございます。

昨年は多くのご支援を賜り、

心から感謝申し上げます。

本年も、故徳田虎雄先生の理念

「生命だけは平等だ」、

「安心して生命を預けられる病院」、

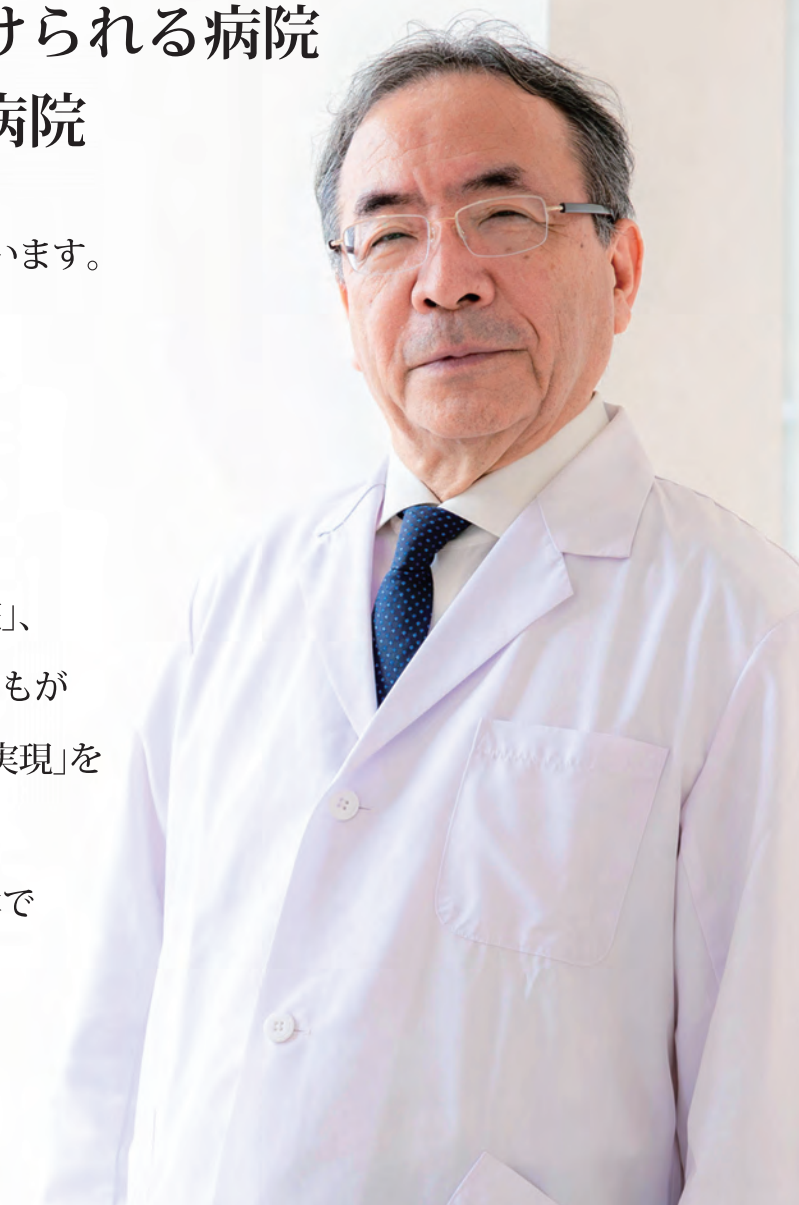
そして「いつでも、どこでも、誰でもが

最善の医療を受けられる社会の実現」を

目指して、皆様の生命と健康を

守ることを使命として、病院全体で

全力を尽くしてまいります。



病院通信

QI大会(品質改善発表会)を開催しました！

QI大会は、医療の質向上のための業務改善の取組を発表する場です。当院では全部署が「指標」を設定し、業務改善の取組を行なっています。その中から、今回は10演題がエントリーし、過程・成果を発表。投票により優秀演題が選出されました。

※QI: Quality Indicator 臨床指標という意味です。



担当者の ひとこと

いつもご愛読いただきありがとうございます。

この度、広報誌「マリンペーパー」をリニューアルいたしました。これからも健康や生活に役立つ情報をたくさんお届けしますので、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

◆担当者のおすすめ韓国ドラマ「ドクター・キム・サブ」

「ドクター・キム・サブ」は韓国の人気メディカルドラマです。このドラマは、医療の現場でのリアルな問題や感動的なエピソードが詰まっており、人間関係や人生の選択についても深く考えさせられます。様々な困難な手術や患者との葛藤を乗り越え、命の尊さを教えてくれます。医療ドラマが好きな方や感動的なヒューマンドラマを楽しみたい方にぜひおすすめです。

マーケティング課

救急外来は年中無休・24時間診療



湘南藤沢徳洲会病院
Shonan-Fujisawa Tokushukai Hospital

〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1
TEL:0466-35-1177 (代表)





別館3階 人間ドック・健診センター

2025年
1月4日
オープン



別館
3階
人間ドック・健診センター

別館を開設します

今年度、別館を新設し、人間ドック・健診センターとICU(Intensive Care Unit、集中治療室)を別館に移転します。

2025年1月は、別館オープン第一弾として1月4日に人間ドック・健診センター、第二弾として1月下旬に小児科、外来化学療法室、痛みセンターがそれぞれ移転オープン予定となっております。

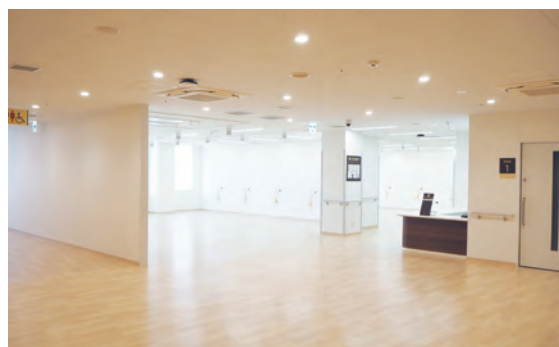


痛みセンター

痛みセンターは別館2階へ移転します。処置室はゆとりのある配置になります。効率的な運用により診療体制を充実させていきます。また、待合室を広くとっておりますので、お待ちの際や付添いの方にもゆったりとお過ごしいただけます。

外来化学療法室

外来化学療法室は、別館2階へ拡大移転します。従来の23床から30床へ増床し、よりプライバシーに配慮した配置となっております。リラックスして安全に治療を受けていただけるように努めてまいります。



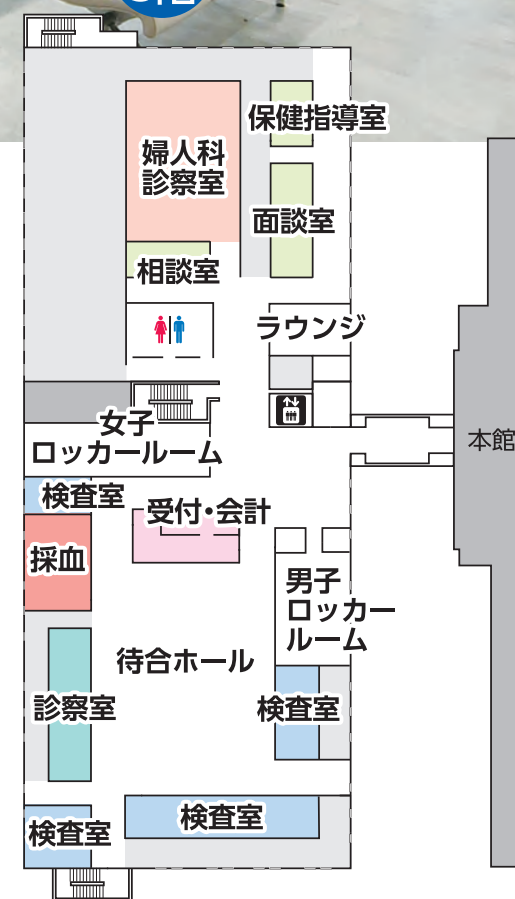
予防医療充実のために

人間ドック・健診センターでは、早期発見や予防医療に力を入れ、皆さんの健康をトータルサポートいたします。

以前の約2倍の広さとなり、1日当たりの人間ドック、健康診断の受入枠が大幅に拡大します。

マンモグラフィーの検査機器も新規導入し、検査精度の向上と共に、より快適に検査を受けていただけるようになります。

別館は本館3階より渡り廊下で接続しています



人間ドック・健診センターの予約・お問い合わせは

完全予約制

0466-35-1360

受付時間：毎週月曜～土曜日
(日・祝日を除く)14:00～17:00まで



ホームページ

健康保険組合などの団体や事業所に所属の方は、申し込み方法を勤務先にお尋ねください。



脊椎センター・ 脊柱側彎症センターの 取り組み

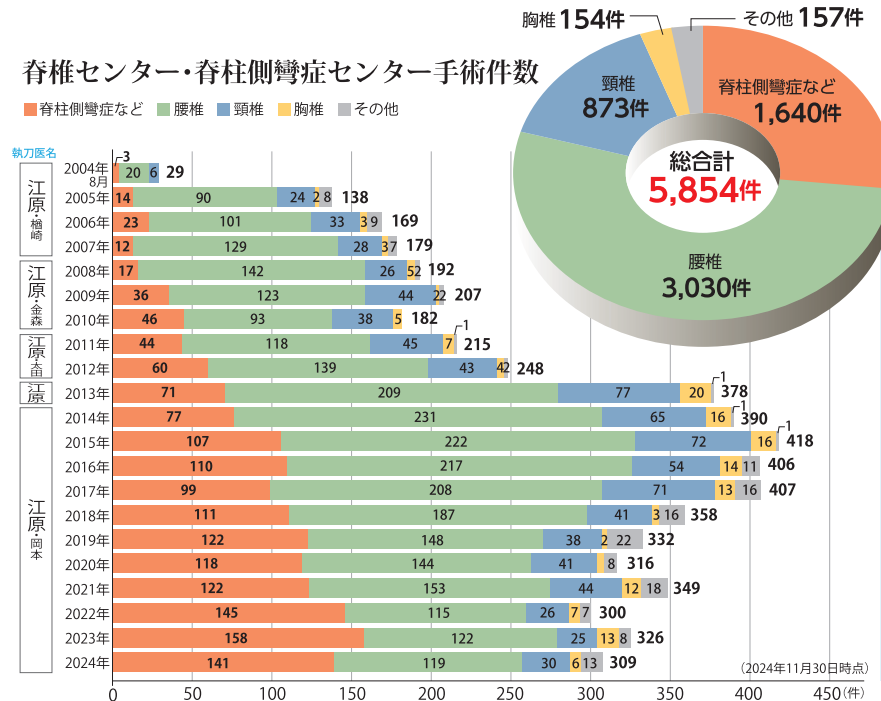
脊椎センター・脊柱側彎症センターの診療においては、センター開設以来、5,854例以上の脊椎手術を行い、その中で若い方、年配の方を含めた脊柱側彎症手術が1,640例を超えました。
ハイブリッド脊椎手術室でのナビゲーションを用いた椎骨スクリュー挿入は35,490本近く、そのうち4,670本以上はロボット脊椎手術によるものです。
(2024年11月30日時点)



YouTube撮影の様子

YouTubeに挑戦

YouTube「徳洲会TV」のドキュメンタリー「闘医」の動画撮影にもチャレンジさせていただきました。
お陰様でご好評をいただき「闘医」シリーズではトップの、1万6千回再生をいただいております。
患者さんからも「YouTube見ました」とお声掛けいただくことが多く、YouTubeの影響の大きさを実感しております。



受診
予約

脊柱側彎症初診外来(江原)
電話での初診申し込み
☎ 0466-53-7731
(脊柱側彎症外来 直通)
受付時間:月~木曜日
9:00~16:30
(金・土・日・祝日・年末年始は除く)
※診察券をお持ちの方は、お手元に用意してお問い合わせください。
※紹介状をお持ちの方は、Webフォームからお申し込み可能です。

公開医療講座

コロナ禍でお休みしていた対面の公開医療講座を再開しました。当院講堂だけでなく、横浜、相模大野にもお邪魔し、各回100名前後の方にご参加いただきました。脊柱側彎症の症状でお悩みの患者さんやそのご家族と直接お話をさせていただきました。



相模大野会場での公開医療講座

ホームページ リニューアル

年末にはホームページをリニューアルしました。脊柱側彎症でお困りの方が、必要な情報にアクセスしやすいように、また、私の脊柱側彎症手術にかかる思いを、より皆様にお伝えできるようにといった点に拘って制作しております。ぜひご覧いただければ幸いです。



2025年もより良い医療サービスの提供に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

湘南藤沢徳洲会病院 院長
脊椎センター・脊柱側彎症センター長
江原 宗平

背骨の曲がり気になる方へ

脊柱側彎症

2024年11月30日時点
脊椎手術件数(年間) 2022年 300件 2023年 326件 2024年 309件

脊髄の疾患 | 入院・手術 | センターの紹介 | 受診について | 医療情報・メディア | アクセス

脊髄側彎症や脊髄疾患に対し、安全性と正確性を求めた手術治療を行います

POINT-01 後方矯正固定術または前方矯正固定術(小切開)による側彎症手術

POINT-02 最先端の医療設備 トビゲーシシステムとロボット脊椎手術

POINT-03 経験豊富な専属スタッフチームによる専門性の高い手術

脳卒中・心筋梗塞

冬になると、気温の低下により血管が収縮し、血流が悪くなるため、脳梗塞や心筋梗塞のリスクが高まります。

脳梗塞【症状】【対処法】

FASTで覚えましょう。

- F** Face 顔面のゆがみ
- A** Arm 片側の手足のまひ
- S** Speech 言葉が話しにくい
- T** Time すぐに救急車を呼んでください

心筋梗塞

【症状】

- 胸の不快感 ●息苦しさ
- 冷や汗が出る ●吐き気を感じる

【対処法】

心筋梗塞は早期発見と治療が鍵です。症状が現れたら、すぐに救急車を呼び、適切な医療機関での治療を受けましょう。



ヒートショック

ヒートショックとは、急激な温度変化により血圧が大きく変動し、心臓や血管に負担がかかる状態です。軽度の場合は立ちくらみやめまいなどが見られ、少し休むと回復することが多いですが、重度になると心筋梗塞や脳梗塞、大動脈解離といった命に関わる疾患を引き起こすことがあります。

【症状】

- ふらつく ●目が回る ●吐きそうになる
- 頭が痛む ●気を失う ●意識がぼんやりする
- 息がしにくい ●胸が痛い

【対処法】

まず室温の変化を最小限にする工夫を行い、ヒートショックを防ぐようにしましょう。無理に立ち上がりず、水分と塩分を補給しましょう。症状が重ければすぐに救急車を呼び、適切な医療機関での治療を受けましょう。



冬に注意したい 病気と その対処法

特集

冬になると、寒さや乾燥が原因で、さまざまな病気にかかりやすくなります。ここでは、冬に特に気をつけたい病気とその対処法についてわかりやすく説明します。

低温やけど

低温やけどとは、44℃から50℃程度の低い温度の熱源に長時間触れることで発生するやけどのことです。高温の火傷とは異なり、比較的低い温度でも長時間触れ続けることで皮膚に損傷を与えることがあります。具体的には、こたつ、電気毛布、電気あんか、使い捨てカイロ、湯たんぽなどが原因となることが多いです。

【症状】

- 皮膚が赤くなる
- ヒリヒリした感じ
- 水膨れができる
- 皮膚がただれる

【対処法】

低温やけどをした場合は、すぐに水道水で患部を冷やすことが重要です。ただし、氷水は使用せず、氷点下の水を避けましょう。また、症状がひどい場合は、医療機関を受診してください。

呼吸器系感染症

冬になると、乾燥や寒さの影響で、風邪やインフルエンザなどの呼吸器系の病気にかかりやすくなります。

【症状】

- 鼻づまり ●咳き込み ●のどの違和感 ●発熱

【対処法】

風邪やインフルエンザにかかったら、無理をせずに休み、水分と栄養を摂りましょう。また、症状がひどい場合は、医療機関を受診してください。



手洗いやうがいをしっかり行い、元気に過ごしましょう！